※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２	年次	１～２
使用教科書	公共　（実教出版）						
副教材等	テーマ別資料　公共 2023　（東京法令）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これから諸君が生きていく現代の社会について、必要な政治・経済・公共的内容を学習し、諸課題を追求、考察、解決するための力を得るための学習をします。民主主義社会に生きる我々一人ひとりが公共的空間を生きる一員です。公民の一人として、今いる自国を愛し、その歴史伝統文化を尊重し誇りに思えるよう願います。そして、自国を尊重しながらも、国際社会でどのように生きていくのか考察し、自国だけでなく世界の恒久平和を念願する憲法の精神のために、国際社会とどのように協調していくのか、自らの考察と探究心で表現できるようになりましょう。自らが公共的空間の一員である、という自覚をもってもらうことを願います。

２　学習の到達目標

① 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
② 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
③ よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国内外の政治・経済・公共的諸課題についての内容を理解し、自ら諸課題を捉え、考察、選択、判断し、効果的に活用する技能を身に着けている。	公共的諸課題を自ら見出し、事実を基に多角的多面的に考察し公正に判断できる力や、異なる意見を持つ人と自らの考えを表現でき、議論をする力があること。また最終的には異なる考えの人との合意形成をする姿勢をもつこと。	現代の諸課題に対して関心を持ち、課題を設定し、考察することで主体的に解決しようとする姿勢を涵養する。自らが民主主義社会である自国の一員であり、公共空間の一員であることを自覚し、自国の歴史伝統文化を尊重する態度を持ち、誇りをもち、主権者の一員の自覚のもと諸課題に主体的の取り組む態度をもつこと。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	青年期の意義	○青年期は人生においてどのような意味をもっているのだろうか。 ・人生における青年期の意義を理解する。 ○「第二の誕生」とされる青年期において、きみたちはどのように変化していくのだろうか。 ・青年期の特徴を理解する。	a:青年期の意義と特徴について理解している。 b:人生における青年期の意義と特徴について、p.7「Try」を利用して、多面的に考察し、適切に表現している。 c:社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	自己形成の課題	○自分の欲求が実現されない場合、どう対応すべきだろうか。 ・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ○自分の個性は、どのようにして形成されるのだろうか。 ・パーソナリティの理論を理解する。 ○自分の目標の実現と周囲からの期待が一致しない場合、どのように対処すればよいのだろうか。 ・青年期の発達課題を理解する。	a:葛藤や欲求不満とその対処法、パーソナリティの理論について理解している b:望ましい自己のあり方と自己形成について、p.9「Try」を利用して、多面的に考察し、適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、青年期の発達課題や自己形成の課題への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	職業生活と社会参加	○働くことや社会参加の意義はどこにあるのだろうか。 ・働くことの意義と社会参加の意義を理解する。 ○私たちはどのような社会を作っていくべきなのだろうか。 ・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。	a:職業のさまざまな意義と、職業選択と自己の生き方を結びつけて考えることの重要性について理解している。 b:さまざまな雇用形態や課題について、多面的に考察している。 c:社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	伝統・文化と私たち	○日本人の伝統的な自然観や倫理観はどのように形成され、受け継がれてきたのだろうか。 ・日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。	a:日本人の伝統的な倫理観の特徴について理解している b:日本人が身に付けるべき態度について多面的に考察し、適切に表現している c:日本人の伝統的な考え方や文化への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	古代ギリシアの人間観	○哲学者たちが追求した理想的な人間の生き方とは、どのようなものだったのだろうか。 ・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する	a:「よく生きる」ことが何であるかを理解している。 b:中庸を選択するべきと考えられるのか、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。 c:先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	公正な社会をめざして	○ロールズやセンが考える公正な社会とは、という主張を理解する。 ○社会の公正とならび、正義という概念をめぐりどういう主張があるか理解する	a:ロールズの公正、センの潜在能力の拡大という考え方を理解している b:生殖医療、自己決定権という生命倫理の課題について考察し、それを適切に表現している c:社会の公正なありかたについての先哲の考え方の深い理解を通して、公共的空間を生きる人間としての在り方、生き方についての自覚を深めようとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	自由権利と責任義務	○権利と義務はどのような関係にあるのだろうか 自由・権利と責任・義務の関係を理解する ○私たち現在の人々は、将来の人々とどのような関係にあるのだろうか	a:自由・権利、責任・義務の関係について理解している b:将来世代の利益を考慮した意思決定について、多面的に考察し適切に表現している c:自由・権利と責任・義務という公共的空間における基本的原理について理解しようとし、主体的考察を行っている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

	民主政治の成立基本原理	○民主政治の誕生と発展について理解する。 ○法の支配の考え方について理解する	a:政治と国家、政府という概念の理解をする民主政治が成立した経過とその基本原理について理解している。 b:社会契約説の形成 自由権の保障の経過、歴史的背景について協同的考察をしお、適切に表現できる。 c:民主主義・法の支配という公共的空間における基本的原理を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	日本国憲法の成立と基	○日本国憲法成立の背景の理解 ○日本国憲法の三大気温原理のりかい ○	a:日本国憲法の成立の背景、最高法規性の理解 b:憲法の最高法規性について適切に表現している c:憲法・法や規範についての意義、役割について主体的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	自由に生きる権利	○憲法で保障されている自由権の内容についてどういうものか ○法の下の平等についての内容を理解する	a:自由権、平等権、など諸権利の内容について理解している b:死刑という刑罰の是非について協働的に考察、適切に表現する c:学習したことを現実社会に照らし現状について主体的考察を行う	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	社会権参政権請求権	○日本国憲法は人間らしい生活の実現についてどのような権利を保障しているか。 ○社会権他の内容について理解する	a:生存権についての経過を理解する b:社会権の保障について協働的に考察し適切に表現する c:日本国憲法が保障する社会権と現実社会について主体的に考察し問題点を考える。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	平和主義と我が国の安全今日の防衛問題	○平和主義についての解釈の変遷について ○日米安保条約と自衛隊はどのような経過をたどって生まれたのだろうか。 ○日本の安全保障政策の展開について理解する ○安保体制の役割の変化は、安全保障の観点からどのような問題点が指摘されているのだろうか。 ○こんにちの安全保障政策の課題について理解する	a:日本国憲法の平和主義の内容と日米安全保障条約が締結され た背景について理解している。冷戦終了後１９９０年代以降の安全保障政策の変容と今日の課題について理解している。 b:防衛関係費と社会情勢の関係について多面的に考察している c:集団的自衛権が他国との関係でどのような影響を及ぼしているかについて主体的に検討しようとしている。我が国の安全保障と防衛について主体的に追及し課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	政治機構と国会・内閣	○国会にはどのような権限が与えられているのか、国会の役割や権限について理解する ○内閣はどのような構成でどのような権限をもっているか。 議員内閣制について理解する。	a:国会の役割や権限、運営について理解している b:国会の地位について適切に表現している c:日本の政治機構について主体的に追及して学習上の課題を意欲的に解決しようとしている a:内閣の権限や議院内閣制について理解している b:国民による行政の監視について、適切に表現している c:行政権の拡大について関心を深め、政治主導と官僚政治の長所と短所について主体的に追及しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	公正な裁判の保障	○私たちはどのように司法にかかわっていくことができるのだろうか。 ○司法制度の在り方や司法参加の意義について理解する	a:司法権の独立や裁判の仕組み、各裁判所の役割について理解している b:違憲審査権の行使について協働的に考察し、適切に表現している。裁判員制度について多面的に考察し適切に理解している c:司法参加の意義について主体的に追及して学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

	経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容	○限りある資金や資源は、どのように選択され配分されているのだろうか。 経済的な効率性・公平性の関係について考える ○資本主義経済の今日までの変遷を概観し、どのような課題があるか考える。	a:生産・分配・消費・希少性・トレードオフ、機会均等など、経済の根本的な概念について理解している。 資本主義社会の展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 b:資源の効率的配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察している c:経済的の効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追及し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	市場のしくみ市場の失敗	○商品の価格はどのような仕組みで決定されるのか、需給曲線を通して市場メカニズムを考える○市場が必ずしも有効に機能しないのはどのような場合だろうか	a:需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している b:市場経済における生産要素の効率的な配分や政府の施策について多面的・多角的に考察・構想する。 c:需要供給曲線のシフトの例などを意欲的に探究する。市場の効率性、公平性について主体的に考えを導き出そうとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	現代の企業	○株式会社はどのような仕組みなのだろう ○現代の企業の役割と社会的責任はなんだろうか	a:株式会社の仕組みについて株主や経営者の視点から理解できる b:企業の役割と責任について協働的に考え理解し適切に表現している c:企業の社会的責任について理解し、現代企業の諸課題について主体的に解決する道筋を考察しようとする	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	金融の役割	○金融機関や金融市場が経済に果たす役割とは何だろう ○金融の自由化や国際化によって金融取引はどのように変化したか考える	a:信用創造などの概念を理解し金融活動が社会を豊かに発展させる役割を担っていること b:景気のそれぞれの側面への対処の方々について多面的に構想し表現している c:金融技術の革新について主体的に追及しよりよい社会の実現を視野に生かそうとする	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	財政の役割	○財政のもつ様々な役割について考える ○税の在り方について考える	a:一般会計歳出の推移を適切に読み取ることができる。 b:歳出の伸びについて協働的に考察しその理由について適切に方言している。 c:公平な税負担について主体的な考えを導き出そうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	戦後の日本経済	○日本経済はどのように成長してきたのだろうか。 ○日本経済はどのような課題に直面しているのか	a:戦後復興、高度経済成長、バブル経済などの背景要因について理解している b:2000 年代以降、経済成長が伸び悩んでいる理由について多面的に考察している。 c:今後の日本経済の在り方について人口減少の視点をいれながら我々が目指す方向性について主体的に追及してよりよい社会の実現にむけての課題に意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度